

コニー・ウィリス『航路』下巻 のあらすじとメモ

takaidos

memo

コニー・ウィリス、2001年発刊。

大森望/訳、2002年発刊。

アメリカでSF界の女王と呼ばれているコニー・ウィリスによる臨死体験ドラマ。

途中で本を置けないほどの面白さ。

ジョアンナが不安定な状態になって行く描写が秀逸。

まるでその場で見守っているように生き生きと描かれている。

特に会話。

ジョアンナが聞きたい事があるのに、ウォジャコフスキーがすぐに自身の体験談、作り話に走ってしまい、読者もいっしょにいつ聞きた

い事を喋ってくれるのか耳を澄ましてしまう。

こういう掛け合い、リアルさがキム・スタンリー・ロビンソン火星3部作などには無い。

シドニー・シェルダンやケン・フォレットにはある。

マンドレイクや饒舌な患者から逃げたりカフェテリアに時間内に行けないジョアンナは普段から車の鍵や携行食料を上着にやポーチに入

れておくべきと思う。

ジョアンナは臨死体験のシミュレーションを体験して、死んで行く人は脳内部の働きから共通のイメージ(ここではタイタニックの沈没)

を感じるのではないかと考え、複数の臨死体験談を分析し始める。

臨死体験談は脳が感じた、見たと感じたもののメタファーに違いない。

そのメタファーから脳の活動がわかれば、死に瀕した人を脳死前にもう一度覚醒する技術に繋がられるかもしれないと考えた。

大森望、豊崎由美氏、58章は泣ける、とあったが、「もしかして？」と思っただけで淡々と読み進んでしまった。

臨死状態のメイジーにリチャードが θ アスパルシンを投与して脳を活性化し、メイジーが大好きだ

ったジョアンナをイメージして蘇生出

来た、ということ。

<目次>

第2部

29～41

第3部

42～60

訳者あとがき/大森望 2002年9月

解説/豊崎由美

<登場人物>

ジョアンナ・ランダー:認知心理学者。科学的。

リチャード・ライト:神経内科医。科学的。

ティッシュ・ヴァンダーベック:マーシー・ジェネラル病院内科勤務の看護婦。ブロンド美人。

ヴィエル・ハワード:マーシー・ジェネラル病院ER勤務の看護婦。

バーバラ:メイジーの病棟の看護婦。

ドクター・ジャスミン:神経伝達物質アミグリシン、 θ アスパルシンに詳しい。

グアードループ:コーマ・カール担当の看護婦。

ミセス・アスピノール:コーマ・カールの妻。

モーリス・マンドレイク:ノンフィクション作家。非科学的。死後生、あの世、魂の不滅を信じ、患者に同じような臨死体験のイメージを

吹き込む。捏造・疑似科学。スピリチュアリズム。著書『トンネルの向こうに光』の印税をマーシー・ジェネラル病院に寄付し病院内で

の活動許可を得た。

エスター・ブライトマン:ブライトマン・インダストリーズのハロルド・ブライトマンの未亡人。マーシー・ジェネラル病院の理事会の最

長老。マンドレイクに傾倒している。

ミスター・オレアドン:リチャードが最初の頃にRIPTスキャンを試した被験者。

コーマ・カール:カール・アスピノール。入院中の男性患者。湖でボートを漕ぐ夢？を見る。

メイジー・ネリス:心臓病で入退院をくりかえす少女。9歳くらい。ダーク・ブロンド五分刈り。

ミセス・ダヴェンポート:マーシー・ジェネラル病院の内科に入院中の臨死体験者。銀髪。

ミセス・ウーラム:マーシー・ジェネラル病院に心臓病で入院中の老婦人。聖書。

グレッグ・メノッティ:心臓発作でERに緊急入院した男性。34歳。体格はいい。

アミーリア・タナカ:24歳。医師を目指す学生。NDEの被験者。

ミスター・セイジ:被験者。言葉があまり出てこない。

ミセス・ヘイトン:忙しくてなかなか捕まらない被験者候補。

ミスター・ピアソル:被験者。

ミスター・オーティース:NDEを体験した患者。神秘現象、夢分析を信じる。

パット・ブライアリー:ジョアンナの高校時代の英語教師。

キット・ガーディナー:ブライアリーの姪。

ケヴィン:キットの許嫁。交通事故死。

ベティ・ピータースン:ジョアンナの高校時代の友人。ブライアリー先生の使っていた教科書について訊く。

シャーリー・マクレーン:前世があると信じる。

ブライディ・マーフィー:逆光催眠で現れた別人格。前世がある証拠とされた。

W.S.ギルバート:タイタニック号で他の乗客の身代わりになった。

イーディス・エヴァンス:タイタニック号でふたりの子連れの人婦人に席を譲って死んだ。

<あらすじ>

29.ジョアンナ目線

NDE中、運動中のグレッグと話し、無線室に行ってQCD,SOSを打電するジャック・フィリップスを見て、浸水して濡れた郵便袋を階段で引

きずり上げる男とすれ違う。

グレッグはジョアンナを他の施設へ案内しようと引っ張るが、振り切って走るうちにNDEが切れる。

30.ジョアンナ目線

メイジーに頼んでおいたタイタニック号の救難信号を受けた船名を訊く。

キットがメカニカル・キャメルのある体育室がタイタニック号のポートデッキにあったことを聞き、自分がブライアリー先生の言ったこ

とを鮮明に長期記憶に留めていたことに気付く。

ウォジャコフスキーに金属の認識票を作ってもらい、メイジーの所へ持って行くが寝ていたため出直す。

メイジー、タイタニック号のもう一人の無線技士ハロルド・ブライドが『SOSを送れる最後のチャンスかもしれない』と話す。

31.ジョアンナ目線

再びセッションに入る。

タイタニック号のロゴを探す。

グレッグに会い、アラカルト・レストランを通り、図書室に行くとハガキを書いているブライアリー先生と会う。

ブライアリー先生はアルツハイマーでなく、かつての先生のままだった。

ハガキを出しに先生が行ってしまったので追いかけているうちにNDEから覚めてしまった。

32.ジョアンナ目線

覚醒してからブライアリー先生は死んだのではないかと焦るが、親指を切っただけだった。

動揺してティッシュにNDE録音前と録音中に外部からなにも情報を得ていなかったという証人になってもらう。

ヴィエルは実はERでローグ中毒患者に腕を撃たれていた。

ジョアンナには心配をかけないようにインフルエンザと偽っていた。

ジョアンナはNDEと謎の解明で目の下に隈を作っていた。

ヴィエルはジョアンナがメイジーの助けになれるように、NDEのサバイバル・メカニズムとしての側面を解明しようとしていることに気付

いていた。

ジョアンナはもう一度潜って、NDEで会えるブライアリー先生に授業で喋ったことを訊いてみようと思いつく。

なぜ自分はNDE(臨死体験)中にタイタニックを見るのか？

(→リチャードはその時の脳の部位と分泌される神経伝達物質を解明する)

33. ジョアンナ目線

ベティから教科書のタイトルが『迷路と鏡』だったことを聞く。

キットの婚約者ケヴィンが交通事故死していたことを知り、キットに謝りに行く。

キットは今後も研究の協力をしたいという。

34. ジョアンナ目線

ジョアンナは再び潜る。

ブライアリー先生は救難信号で白煙筒を打ち上げる。

ジョアンナは「エレベーター」と言って覚醒する。

リチャードはコルチゾールのレベルが以前より高かったので、恐怖を味わってるのではないかと心配していた。

メイジーがタイタニック号の近くにいたカルパチア号について調べた結果をジョアンナに伝えた。

カルパチア号はタイタニック号から58マイルの距離にいたが無線を切っていて、朝になるまでタイタニック号の沈没には気づかなかった

ジョアンナはグレッグが臨終間際、タイタニックの上だったので、「58...」「彼女は遠過ぎる」と言ったと思い至り驚愕する。

35. ジョアンナ目線

ジョアンナはマンドレイクに見つからないように病院を抜けて、ブライアリー先生の家に行く。

キットは探しておいた本がまたブライアリー先生に隠されてしまったことに気づき探し回る。

ジョアンナはブライアリー先生が喋るのを横で聞く。

先生は「彼が見たのはタイタニック号ではない、死だ」という。

36. ジョアンナ目線

NDE中感じたイメージは、避けられず緩慢に進んで行く死、だった。

そのために自分もグレッグも死を前にしてタイタニック号の上でいた、と悟る。

サバイバル・メカニズムを期待していたジョアンナは研究に絶望を感じる。

学生被験者のアミーリア・タナカもそれに気付いて、以後のセッションを辞退したのではないか

と思い電話で質問しようとするが切られ

てしまう。

過去2年間の研究ファイルを見直して、大学に行きアミーリアに「本当に怖いものを見なかったか？」と訊くが彼女は見ていないと断言

する。

そこへウォジャコフスキーが来たので、もう一度NDEの最中のイメージを訊いてみる。すると彼はヨークタウン以外の船に乗っていた、見たこともない船だった、という。

37. ジョアンナ目線

タイタニック号に庭と霧ないし煙が実際にあったかメイジーに調べてもらう。

キットがふたたび『迷路と鏡』の本を見つけてくれる。

コーマ・カールのNDEインタビューを調べていたら、タイタニック号上で演奏されていた音楽ではないかと思われる部分があった。

看護婦グアードループからコーマ・カールの目が覚めたという連絡が入る。

38. ジョアンナ目線

ジョアンナはカールに何を見ていたか質問する。

39. ジョアンナ目線

カールの所を辞したジョアンナは病院を駆け回ってリチャードを探す。

しかしERで少年に刺されてしまう。

40. ジョアンナ目線

ジョアンナは「NDEはSOS、死に行く脳が体内のあちこちに助けを求めている状態」と伝えようと、リチャードを探し回るが、ERに来てい

たログ患者(ドラッグ中毒)に刺されてしまう。

NDE状態でジョアンナは体外離脱、空中浮揚し、またタイタニック号に乗るが、今度は避難しようとする人混みに阻まれて、Cデッキの通

路に戻れなくなってしまう。

41.リチャード目線

リチャードはジョアンナが瀕死状態であると知ると、研究室に戻り、ティッシュに自分をNDE状態にするように迫る。

そしてリチャードは体外離脱、空中浮揚し、ジョアンナが窓枠においたものが、ブリキのヒンデンブルク号であること知り、通路に立つ

。

しかし通路の扉を開けても、聞いていたような外のデッキとは違っていた。

そこはホワイトスター汽船のオフィスだった。

目を覚ますとティッシュがいて、2時間も戻らなかったという。

ジョアンナは死んでしまっていた。

第3部

42.リチャード目線

リチャードは多くの人からの弔意を受ける。

ティッシュは希望通り内科に転属となる。

リチャードとヴィエルの前に、ジョアンナの姉ジューン・ウェクスラーが現れる。

狂信的なキリスト教信者だった。

43.メイジー目線

ジョアンナの来訪がなく、周囲によると東部のニュージャージーに引っ越したと聞いたメイジーは、住所を知りたくてリチャードの研究

室に会いに行く。

44.ジョアンナ目線

ジョアンナはブライアリー先生らとタイタニック号の上にいる。

ブライアリー先生は喫煙室にジョアンナを誘う。

45.リチャード目線

キットがジョアンナに頼まれていた本をリチャードのところに持って来る。

ジョアンナの葬式。

マンドレイク、ミスター・ウォジャコフスキーが弔辞を述べる。

46.リチャード目線

リチャード、ヴィエル、キットはカフェテリアでジョアンナが最後に誰と会ったのか、何を突き

止め、何をリチャードに伝えようとして

いたのか話し合う。

47. ジョアンナ目線

ジョアンナはブライアリー先生に連れられて、タイタニックの一等喫煙室に行く。

そこではタイタニックで亡くなった乗客、乗務員やマーシー総合病院で亡くなった患者がトランプなどをしていた。

折り畳み救命ボートのことを話すとグレッグに「それはどこにある!？」と迫られる。

48. リチャード目線

リチャードはミス・ダヴェンポートにジョアンナの最後に会ったときのことを訊いたり、コーマ・カールという患者の名前を聞いたり

、面接者リストに名前のないヨーゼフ・ライプレヒト(ヒンデンプルクに乗っていた)の名前を見つける。

そしてキットといっしょにメイジーのところへ行く。

メイジーは初めてジョアンナが死んだことを知る。

49. ジョアンナ目線

ジョアンナはタイタニックの無線室目指して走る。

グレッグは折り畳み救命ボートを探す。

50. リチャード目線

メイジーはジョアンナにタイタニックのSOS救難信号について調べるよう頼まれていたことを話す。

メイジーの母親がリチャードに新しい心停止治療法の開発をしているなら、メイジーに適用してほしいと頼みに来る。

51. ジョアンナ目線

ジョアンナは無線室で、キットの婚約者で無線技士のケヴィンと会う。

グレッグはケヴィンに救難信号を送り続ける、という。

ケヴィンは「カルパチア号は58マイル離れている。彼女は遠過ぎる。間に合わない」という。

ジョアンナは自分の脳が死に始め、タイタニックに夜が落ちて来るのを感じる

52. リチャード目線

メイジーからコーマ・カールは昏睡から目覚め退院して山荘に行ったことを聞く。

リチャードはキットといっしょにカールに会いに行く。

カールに昏睡中どこにいたのかを訊くが時間切れでミセス・アスピノールに追い帰されてしまう。

53. ジョアンナ目線

ジョアンナは沈んだ。

それでもまだリチャードに伝えようという意志が残っていた。

54. リチャード目線

昏睡から目覚めたカールの言っていたことを聞いた人を探したり、ジョアンナが直接会って聞いていた可能性に思い当たる。

55. ジョアンナ目線

ジョアンナはフレンチ・ブルドッグを抱きしめながら、海に浮かぶピアノの上に乗って、死者のメッセージを送り続けた。

56. リチャード目線

ミスター・ピアソル、アミーリア・タナカと話す。

アミーリアはNDE中、実験室で実習の期末試験を受けていたという。

リチャードは各人のNDE時の体験の共通点を考える。

メイジーの母親がGPS付きのポケベルを持って来る。

あとでメイジーがテストで押す、という。

マンドレイクにジョアンナが最後に会ったとき何を言ったか聞きに行く。

「NDEはたしかにメッセージでした」と。

リチャードは臨死体験時の脳の働きが見えて来る。

θアスパルシンは抑制物質でなく、活性物質だった。

ウォジャコフスキーが来て戦時中に話を始め、入れ替わりに去る。

57. ジョアンナ目線

ジョアンナが抱いていたのは少女だった。

少女はフレンチブルドッグを抱いていた。

ジョアンナは少女がメイジーでないことを祈る。

少女は犬をウーラと名付ける。

ジョアンナは少女をヘレンと名付ける。

58. メイジー目線

キットがメイジーにヒンデンブルクのビデオを差し入れする。

メイジーがNDEに陥る。

リチャードが θ アスパルシンを投与する。

サーカスのテントの中において火事に巻き込まれる。

ピエロのエメット・ケリーに助けられ、テントの外に逃げるように言われる。

59.リチャード目線

蘇生したメイジーは8時間の心臓移植手術を受ける。

ウォジャコフスキーがメイジーと友達になっていた。

リチャード、ヴィエル、キットが病院内でディッシュ・ナイトにメイジーを招待する。

メイジーはエメット・ケリーはジョアンナだった、という。

60.ジョアンナ目線

ジョアンナとヘレンのところへヨークタウンがやって来る。

ジョアンナは、どんな船でもいつかは沈むという言葉を出す。

<メモ>

リチャードの脳スキャン分析。

被験者を横にし、アイマスクとヘッドホンを付ける。

幻覚剤ジテタミン(架空)を投与。覚醒→ノンレム睡眠→NDEへ移行。RIPTスキャン(脳の活動部位を見る)。

脳内物質 α エンドルフィン、 β エンドルフィン、NPK、コルチゾール値増大。

アミグリシン、 θ アスパルシン増大。

β エンドルフィン:幸福感。

コルチゾール:恐怖感。

アセチルコリン:

アミグリシン:抑制物質。

θ アスパルシン:消化に関する。架空。

DABA:コルチゾールと組んで抑制効果発揮。

側頭葉は自分の感じたことや記憶が現実のものと思いつく部分がある。

コニー・ウィリス作品。

- ・見張り
- ・クリアー家からの手紙
- ・我が愛しき娘たちよ(短編集)
- ・リンカーンの夢
- ・ドゥームズデイ・ブック
- ・女王様でも
- ・救難信号(Distress Call)
- ・犬は勘定に入れません あるいは、消えたヴィクトリア朝花瓶の謎
- ・リメイク
- ・航路
- ・ブラック・アウト
- ・オール・クリア
- ・リンカーンの夢

コニー・ウィリスはSFの女王、アメリカの宮部みゆき。

引用文献。

- ・老水夫行
- ・マルタ島のユダヤ人/フォースタス博士
- ・タイタニック号の最期